

平成28年度 第1回定例会

議案審査特別委員会における主な議案質疑

議案審査特別委員会は、15名の委員で構成（3月8日、9日、11日、14日、15日開催）

議案第28号

平成28年度かすみがうら市一般会計予算

Q 英語指導助手設置事業について

A 当事業については、中学校に3名、小学校は2名の配置を予定しております。中学校では、それぞれの規模に応じて時間割等の配置をする予定です。小学校については2名で、それぞれの学校を持ち回りで担当する予定です。1人当たり週30時間の予定です。中学校では全授業の半分程度をカバーし、小学校では、5、6年生の外国語の授業をすべて対応する予定です。

Q 米政策推進事業について

A 飼料用米の交付金事業です。国及び県でも交付金が出ておりますが、市でも上乗せ加算と、担い手加算により助成をしております。

Q 環境美化事業のフラワーロードについて、空き花壇があるようですが改善策はありますか。

A フラワーロードの空き花壇の状況ですが、平成25年度は9花壇、平成26年度は24花壇、平成27年度は33花壇と年々増えております。理由は、ボランティアを行う地域の方々の高齢化に伴い、今まで4区画だったものを2区画にしてほしい等の要望が多いためです。対策として、空いている花壇については、除草シートをかぶせる方法を考えております。

Q 交通安全事業の交通安全施設工事の内容を伺う。

A 交通安全対策として、カーブミラーやガードレール工事等の費用を計上しております。その他として、霞ヶ浦北小学校が開校するに当たり、スクールゾーンの路面標示工事と通学路看板の設置として、129万円ほどを計上しております。合計で379万円ほどです。

議案第22号

平成27年度かすみがうら市一般会計補正予算（第6号）

Q 神立停車場線の年度末における整備の進捗率はどのぐらいなのか。

A 土地の買収率としては、71.2%の完了です。筆数から見た進捗率は62.9%。補償件数から見た進捗率は69.2%。道路延長に換算すると、全体が1,150メートルのうち911メートルの買収が進んでおります。率にして79%となります。

Q 石岡地方斎場への負担金のなかで、増額となった旧斎場の解体費用について

A 全体の費用として、実施工事請負費と管理業務の委託費合わせて6517万8000円です。当初予算が5454万円でしたので、1063万8000円の増額となりました。アスベストの含有が新たに判明したため、その除去費用に充てるためのものです。かすみがうら市の負担分は、105万9000円の増額となります。

Q 交流センターについて、第三セクター（巻末参照）という法人化がなぜいま必要なのか伺う。

A 今回第三セクターという形で市も出資いたします。これまでの市の情報発信だけでは、この地域の魅力を伝えきれないことがあり、今回主体となる民間企業の情報発信力を生かすことで、交流人口が拡大することを目指しています。また、DMO※を活用した多様な取り組みの連携として、6次産業化事業、レストラン事業、地域の農水産物の活用、食育ワークショップや地域のワーキングスペースの活用も視野に入れております。そこで三者が連携を取り、それぞれの役割を果たしていくこととなります。

民間企業には、事業主体である飲食事業と広告事業、市は、地元、地域との連携と保証、金融機関は、経営上のアドバイスから資金計画を担うというようなものです。その三者連携の中で、第三セクターをたち上げようということとなりました。



▲湖畔から見た市交流センター

※DMOとは

「Destination Marketing/Management Organization」の略。

地方公共団体と連携してマーケティングやマネジメント等を行うことにより観光地域づくりを担う法人。

多様な関係者の合意形成や、データの収集や戦略の策定、プロモーション、収益事業などを行う。

国では、観光庁が「日本版DMO」の形成・確立の促進を図っている。

議案第13号

かすみがうら市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について

Q 今回条例の制定に至った経過は

A これまで規則で定めていたものを、消費者安全法の改正により組織の運営等に関する事項について、条例で定めることとなったものです。

Q 今までの消費生活センターの相談件数の実績と主な相談内容は

A 平成25年度で278件。平成26年度が245件。平成27年度が、12月現在までで170件です。主な相談内容は、携帯電話等のワンクリック詐欺や、高額な不正請求を受けて、支払ってしまった等のデジタルコンテンツのトラブルが多いようです。

かすみがうら市議会 議員研修（講演会）

日 時：平成28年4月14日（木）
会 場：市役所防災センター2階 研修室
講 師：野村 稔 氏
（全国都道府県議会議長会議会制度研究アドバイザー）

演 題：「地方議会の役割等」
自治体の委員会条例や会議規則の制定の経過や議員の役割さらには、本会議の運営について等、長年の実務経験に基づいた講演をいただきました。



▲研修風景